

京都の伝統工芸の高度な技・デザインが修得できる

日本で唯一の教育機関

TASK

京都伝統工芸大学校

知恵の使いどころ

長年にわたり従弟制度の中で伝承されてきた巧の技を、体系だった教育課程の中で修得できるシステムを確立。

“技術は盗むものから教え伝わるもの”への試みに挑戦してきた。昨今、工芸分野の高等教育機関として内外から高い評価を受ける。



強み

国、京都府、(財)京都伝統工芸産業支援センターが全面的にバックアップ。専門分野の授業は京都の業界から派遣された伝統工芸士等の職人が直接指導。また、デザイン系のカリキュラムも充実。デザイン力を持った工芸家の育成に努めている。

プロフィール

「伝統的工芸品産業の振興に関する法律」の支援計画により、1995年に南丹市園部町に開校。2003年に京都市内に京都伝統工芸館を開設。同年、放送大学と連携し教養教育を充実強化させる。2007年に4年制の高度専門課程を新設し、文部科学省より大学院入学資格付与校となる。



実績・成果

43名からスタートし、現在は約450名の在籍者を擁する。開校以来1,700人を超える卒業生を送り出し、京都をはじめ全国の伝統工芸産業の後継者を育成してきた。昨年は卒業生の中から伝統工芸士第1号が誕生。『京もの認定工芸士』には毎年複数の受賞者を出している。



京都・知恵ビジネス・ワークショップ